

## 気候変動シンポジウム

### ——諸要因の変動——

日時 昭和53年12月7日(木) 9:30~17:00

場所 気象庁講堂

座長 田中正之(東北大理), 嘉納宗靖(気研高物)

第1部(9:30~12:30)

1. 高柳洋吉(東北大理): 過去の気候変動  
—主として古生物学の立場から見た古環境とその変動—
2. 桜井邦明(神奈川大工): 太陽放射の変動性  
—太陽物理学の立場から見た太陽放射の変動性—
- 3a. 町田 洋(都立大理): 第4紀の火山活動の変動

と気候

3b. 山元龍三郎(京大理): 最近の火山活動の変動と気候

第2部(13:30~15:45)

4. 中島映至(東北大理): 地球軌道要素の変動と気候  
—ミランコヴィッチ説とその位置づけ—
5. 川井直人(阪大基礎工): 地磁気の変動と気候
6. 朝倉 正(気象庁長期予報): 最近の気候変動

第3部(16:00~17:00)

総合討論

## 構造物の耐風性に関する第5回シンポジウムのお知らせ

「構造物の耐風性に関する第5回シンポジウム」を関係学協会等共催のもとで開催し、国内の研究者ならびに技術者の研鑽と交流および研究情報交換と併せて相互の親睦をはかることになりました。

つきましては、会員各位には下記要領によりふるってご参加下さるようご案内いたします。

共 催：日本学術会議構造研究連絡委員会耐風構造分科会，(社)電気学会，(社)土木学会，(社)日本気象学会，(社)日本建築学会，日本風工学研究会，日本鋼構造協会(幹事学協会)

開催期日 昭和53年12月5日(火)，6日(水)の2日間

会 場 気象庁講堂(東京都千代田区大手町1-3-4，電話 03-212-8341)

参加費 3,500円(論文集代を含む)

定 員 300名

参加申込要領

(1) 申込方法：B5版大の用紙に「構造物の耐風性に関する第5回シンポジウム参加申込」と明記し，①参加氏名，②勤務先および職名，③連絡先住所，④所属学協名を必ず記載し，参加費を添えて現金書留便でお申し込み下さい。

(2) 参加申込期限：昭和53年11月15日(水)

(3) 申込先：郵便番号100 東京都千代田区丸ノ内3-3-1 新東京ビル 848 日本鋼構造協会内

「構造物の耐風性に関する第5回シンポジウム」係(電話 03-212-0875)

(4) その他：

- a. シンポジウム論文集は11月上旬に刊行の予定です。参加申込者へは、論文集を事前に送付します。
- b. 原則として参加申し込みの取り消しがありましても、参加費の払い戻しはいたしませんのでご了承下さい。
- c. 締切期日前でも定員になり次第、申し込みを締め切りますのでなるべく早目にお申し込み下さい。

懇親会

下記により懇親会を開催いたしますが、本会は異なる分野の方々との親睦、交流をはかり、いっそう親密な研究情報交換等を通じるための場としたたく存じます。シンポジウム参加各位が多数参加されるよう希望いたします。

参加ご希望の方は、シンポジウム参加申し込みと同時に申し込み下さい。

なお、会費は当日会場受付にてお支払い下さい。

- a. 日時 昭和53年12月5日(火) 17:30~
- b. 会場 気象庁内
- c. 会費 1,500円

プログラム (P. 690~P. 692をご覧ください)



根本順吉 著

## 気象の周辺

玉川大学出版部, 1978, B 6 版, 200頁, 880円

著者は、気象庁の予報畑で40年近く実践的経験を積んだ後、現在、世界気候診療所を開設して気候の寒冷化傾向を警告するとともにその解説書を世に送り、気候変動に対する一般の関心を高めた赤ひげとして著名な人である。著者はまた、科学の解説や科学史・博物誌の論文など幅広い文筆活動を通じて既によく名の通った人でもある。本書は、そういう仕事の中から特に、気象学の周辺に関心を寄せた随想的文章を集めたものであり、著者の豊かな知識や持ち前の見識などが窺える文集になっている。

本書の内容は4つの章で構成されている。第1章の「最近の異常気象と気候変動」は、高校地学の教材として書かれたもので、現時点でのこのトピックに対する一つの理解がまとめられている。第2章の「気象とその周辺」では、気象学にかかわる周辺領域の問題についての著者の見解と姿勢とが示されている。そのテーマとして、医学や環境、民俗、戦争、防災、歴史、芸術、農業、地理、教育など多岐にわたっている。また、気象用語のうち著者の気に障る用語（たとえば巻雲と絹雲）に

ついても触れられている。第3章「気象を見る眼」は、気候誌のテーマ6項目に関するノートである。第4章は著者半生の回顧録で、気象事業に従事してきた戦中頃からの経過が記述されている。

さすがに経験に富んだ気象家の文章らしく、気象に関する表現は平易でやわらかく、話題の選定にも余裕がみられる。しかし失礼をかえりみないで言うと、第2章の評論的随想においては全体に精彩が欠け、考案も平凡になりがちである。著者自身、説教調になったと反省しておられるが、必ずしもそれが原因ではないように思われる。

ところが、第3章になると著者の面目は躍如する。その中の「山の音」では、山で耳にするさまざまな音がまとめられていておもしろく、また富士山の気象研究家として知られた山本三郎氏の山の音の経験をつづった長文の手紙も引用されている。同氏は突風と突風とがぶつかる音が聞こえると記しているが、こういう表現は普通の気象学しか知らない評者などをうろたえさせるに十分である。このほか、第3章には「シロッコとその仲間たち」や「チロルのフェーン」など気候誌的な読み物も収められていて、この方面での著者の趣味が生かされている。

本書を手にする読者は、硬質な論文がもつ緊張感とは異なって「周辺」特有の安らぎの気分を味わうことができるだろう。今後とも著者の才能を最大限に生かした随想や解説を書きつづけてもらいたいし、また準備中とかの気象学史に関連する文集にも期待したい。

(木田秀次)

## 構造物の耐風性に関する第5回シンポジウム

### プログラム

第1日：12月5日（火）

9.00～9.10 開会の辞

構造物の耐風性に関する第5回シンポジウムプログラム運営委員会委員長

東京大学 鷲津久一郎

司会：塩谷正雄（日本大学）

9.10～9.40 招待講演 1

相馬清二

竜巻ならびにその同類現象について

9.40～9.50 休憩

9.50～10.55

1. 昭和53年2月28日東京地方を襲った竜巻について 京都大学 光田 寧, ○文字信貴, 日本大学 岩谷祥美, 京都大学 西岡淳一

2. 強風時における風の乱れの空間分布について 京都大学 光田 寧, ○塚本 修

3. 大気下層における風に関する乱流統計量について 気象庁 ○花房龍男, 藤谷徳之助, 大塚 伸  
 15. 10~15. 40 招待講演 3  
 司会 嶋田 潔 (電源開発)  
 科学技術庁 関 利孝  
 風力発電について
4. 空港周辺の地形性乱気流の実験的研究  
 気象庁 西山 宏, 花房龍男, ○藤谷徳之助  
 15. 40~15. 50 休憩
10. 55~11. 05 休憩  
 司会 大熊武司 (神奈川大学)
11. 05~12. 30
5. 建築物周辺の気流に関する風洞実験の比較  
 日本大学 ○丸田栄蔵, 亀井 勇  
 15. 50~17. 00
6. 新宿新都心地域の風一市街地風の特性(1)一  
 鹿島建設 ○吉田正昭, 真田早敏, 清水建設  
 藤井邦雄, 大成建設 浅見 豊, 竹中工務店  
 岩佐義輝, 深尾康二, 大林組 川口彰久  
 13. 乱流中におかれた三次元正四角柱に作用する  
 風力について 東京電機大学 河井宏允
7. 新宿新都心地域の風一市街地風の特性(2)一  
 大成建設 ○浅見 豊, 竹中工務店 岩佐義  
 輝 深尾康三, 大林組 川口彰久, 鹿島建設  
 吉田正昭, 真田早敏, 清水建設 藤井邦雄  
 14. 角柱周辺の乱流および風圧力に関する数値解析  
 日本電信電話公社 ○赤木久真, 東京工業  
 大学 藤本盛久, 神奈川大学 大熊武司
8. 新宿新都心地域の風一実測と風洞実験の比較一  
 清水建設 ○藤井邦雄, 大成建設 浅見 豊,  
 竹中工務店 岩佐義輝, 深尾康三, 大林組  
 川口彰久, 鹿島建設 吉田正昭, 真田早敏  
 15. 三次元角柱における角柱の形状と変動揚力の  
 性状の関係について  
 神奈川大学 ○大熊武司, 金谷昭男
9. 回転HPシェル構造物に作用する変動風圧力  
 (その1 円周方向の風圧力について)  
 大林組 ○本間義教, 武田寿一  
 伊藤雅保, 川口彰久  
 16. 非粘性渦点モデルによる角柱まわりの流れの  
 数値解析  
 九州大学 溝田武人
12. 30~13. 30 昼食・休憩  
 司会 吉田正昭 (鹿島建設)
13. 30~14. 00 招待講演 2  
 東京大学 村上周三  
 建物周辺の強風がもたらす環境障害
14. 00~14. 10 休憩
14. 10~15. 00
10. 高層建築物に作用する風圧力の実測  
 早稲田大学 松井源吾, 田村幸雄,  
 樋口久吾, ○須田健一  
 第2日: 12月6日(水)  
 司会: 伊藤 学 (東京大学)
11. 中野電タビルにおける風圧実測  
 東京工業大学 藤本盛久, 神奈川大学  
 大熊武司, 東京工業大学 ○天野輝久,  
 日本電信電話公社 松下一郎, 赤木久真  
 9. 00~ 9. 30 招待講演 4  
 九州大学 中村泰治  
 構造物のフラッタ
12. 鋼管鉄塔の風圧抵抗に関する実験的研究(抵抗係数と投影率について)  
 日本大学 亀井 勇, ○卯月英夫  
 9. 30~ 9. 40 休憩
15. 00~15. 10 休憩
- 1978年9月
17. 角柱に作用する空気力に関する2, 3の考察  
 徳島大学 宇都宮英彦, 瀬尾芳雄, ○泉慶治
18. 一様流中におかれた二次元静止矩形柱の空力  
 3分力特性と圧力分布について  
 清水建設 大築志夫, 藤井邦雄  
 東京大学 鷲津久一郎, ○大屋昭男
19. 一様流中におかれた矩形断面構造物周りの流れ  
 九州大学 ○岡島 厚, 杉谷賢一郎
20. 2次元角柱変動圧縮方向相関の測定と渦の径  
 路の測定  
 京都大学 石崎澄雄, 広島大学 ○桂  
 順治, 東京電機大学 河井宏允
10. 50~11. 00 休憩  
 司会 日野幹雄 (東京工業大学)
11. 00~12. 30
21. 乱流中の角柱の空力応答特性と乱れのスケール  
 効果 東京大学 ○宮崎正男, 宮田利雄
22. 円筒の渦励振モデルに関する研究  
 早稲田大学 田村幸雄

23. 並列円柱の空気力学的挙動に関する基礎的考察  
徳島大学 ○宇都宮英彦, 鎌倉米康
24. 架空送電線のフラッタに関する一研究  
九州大学 中村泰治, 渡辺公彦  
科学技術庁 上村平八郎
25. 角塔型多質点バネ系モデルのガスト応答とその上下限  
日本大学 佐藤稔雄, ○半貫敏夫  
星 陸廣, 金 廣和
12. 30~13. 30 昼食・休憩  
司会: 原 公 (石川島播磨重工)
13. 30~14. 00 招待講演 5  
中央大学 岡内 功  
本州四国連絡橋の耐風設計にかかわる諸問題について
14. 00~14. 10 休憩
14. 10~15. 35  
26. 橋軸方向に横断面が一様でない長大橋梁の空力応答性の評価  
東京大学 ○宮田利雄, 宮崎正男  
勝俣 徹, 伊藤 学
27. 吊橋補剛桁の部材配置による耐風特性について  
東京大学 伊藤 学, 宮田利雄, 九州工業大学  
○久保喜延, 加藤九州男, 重広正治
28. 長大斜張橋の自然風応答と影響因子について  
建設省 ○佐藤弘史, 成田信之
29. インディシャルモーメント応答を用いた充腹断面橋桁の非線形応答解析  
九州産業大学 ○吉村 健  
九州大学 中村泰治
30. 風による超高鉄塔の応答振幅に関する考察  
東京電力 成田勝彦, 吉田 一, 町井 渡  
鹿島建設 吉田正邦, 真田早敏, ○中村修
15. 35~15. 45 休憩  
司会 成田信之 (建設省)
15. 45~17. 10  
31. 耐風設計規準に関連する若干の確率統計的考察  
筑波大学 藤野陽三, 東京大学 ○伊藤 学
32. 格子により自然風に相似な風洞流を作る試み  
金沢工業大学 森 武雄
33. 光学変位計・歪計による風向方向振動の測定と理論解との比較について  
京都大学 石崎澄雄, ○谷池義人
34. タンDEM型熱線風速計による変動風速の三次元的な測定  
東京大学 ○村上周三, 小峰裕己
35. 耐風試験装置の試作  
日本大学 亀井 勇, 建設省 室田達郎  
○中原満雄
17. 10~17. 20 閉会の辞 日本大学 亀井 勇